

1 令和3年度「プラス1」推進運動の取組内容及び集計結果

発想の転換や少しの気付きから、これまで定例化されていた会議や慣例行事等の縮減・見直しなど、思いきった改革を行っている学校もあります。超過勤務の主な理由として、部活動、校務分掌、クラス担任業務、授業準備等の割合が高いことから、学校運営全般を今一度見つめ直していただき、今回の報告も参考にさせていただきながら今後も働きやすい職場づくりの推進をお願いします。

(1) 取組内容 ※選択回答

項 目	校数（複数回答）					合 計
	市町立学校		県立学校			
	小学校 (254)	中学校 (138)	高等 学校 (60)	特別支援 学校 (20)	中学校 (3)	
ノー残業デー、定時退校日の設定、施錠時刻の設定	249	132	53	20	3	457
組織体制の見直し ※校務分掌、業務分担	183	83	21	10	2	299
外部人材の活用	69	40	14	0	1	124
会議時間、会議回数の縮減	190	77	33	16	2	318
学校行事の見直し	200	96	27	11	3	337
ICTの活用 ※校務支援システム、校内ネットワーク等	216	107	43	4	3	373
P T A 行事の精選	104	59	10	4	1	178
参加する地域行事の精選	38	15	3	0	0	56
ノー部活動デー、部活動休養日の設定	20	126	36	2	3	187
部活動にかかる対外試合の精選	5	46	6	0	1	58
レクレーション等、職員のコミュニケーションづくりの設定	0	0	17	2	1	20
その他	15	9	6	1	1	32
合 計	1,289	790	269	70	21	2,439

※（ ）内は回答があった校数

回答があった学校のうち、「ノー残業デー、定時退校日の設定、施錠時刻の設定」に取組んだ学校が96.2%、「ICTの活用」に取組んだ学校が78.5%、「学校行事の見直し」に取組んだ学校が70.9%という結果でした。

※表のうち、その他 32 校の内容

【県立学校】 ※重複回答あり

事務分掌・業務の見直し	1	正副担任の業務分担による負担の平準化
	2	考査振替日（考査採点日）の設定
	3	家庭訪問の廃止
勤務時間等	4	留守番電話を設置し、保護者対応業務の時間的制約を設けた
	5	勤務時間外の用務（午前中の会議等）について、別日に出退勤時刻を調整する「調整カード」の活用
部活動	6	部活動の統廃合
その他	7	声かけ運動
	8	職場環境改善アンケート結果を公表し、経年比較や個人での取組事例を紹介して啓発を行うとともに、欠席連絡の ICT 活用等、アンケート結果を基に改善策を策定し、実行した

【市町立学校】 ※重複回答あり

事務分掌・業務の見直し	1	個人面談の夏季休業中の実施
	2	給食指導等に関わる職員の人数見直し
	3	登下校における安全指導体制の見直し
	4	通知表の形式の見直し
	5	押印の廃止（できる文書から）
	6	提案文書提出時の押印廃止
	7	部活動複数顧問制

事務分掌・業務の見直し	8	通知表所見の見直し
	9	P T A 会長、保護者に説明し、了承を得た上で、連絡帳への担任からの毎日のコメント（返信）の記入をやめた
	10	職員室行事黑板について手書きから拡大コピーの掲示へ
家庭訪問の見直し	11	家庭訪問の廃止
	12	家庭訪問を学校での保護者面談にした
	13	家庭訪問は玄関先で短時間で実施
	14	家庭訪問を廃止して自宅確認のみ
	15	家庭訪問を廃止し、夏季休業中の保護者面談を実施
	16	家庭訪問から個人面談への移行
	17	家庭訪問の中止、すべて学校での面談に切り替え
勤務時間等	18	会議の数を精選するとともに、会議の終了時刻を明示することで効率化を図る
	19	施錠体制の見直し
	20	多忙な学期末における短縮日課の導入
	21	日課の見直し
	22	年度末の繁忙期における午前中5時間授業ウィークの設定
	23	部活動の活動時間の短縮
	24	地域部活動への移行
	その他	25
26		安心安全メールを活用した学校だよりや学級通信等の配信

(2) 令和3年度「プラス1」推進運動取組調査集計結果

【県立学校】

2022/4/1 現在

令和3年度

【参考】令和2年度

【参考】令和元年度

項目	校数(複数回答)				割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計	
教職員の勤務態勢及び学校運営の改善	57	19	3	79	95.2%
学校行事・各種会合等の負担軽減	31	16	1	48	57.8%
文書管理等事務処理の負担軽減	23	7	2	32	38.6%
PTA・地域行事・保護者への対応等業務の負担軽減	14	1	1	16	19.3%
部活動・社会体育等への負担軽減	18	1	1	20	24.1%
その他	2	0	0	2	2.4%
合計	145	44	8	197	-

項目	校数(複数回答)				割合(%)	割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計		
教職員の勤務態勢及び学校運営の改善	62	17	2	81	95.3%	88.8%
学校行事・各種会合等の負担軽減	36	14	0	50	58.8%	67.4%
文書管理等事務処理の負担軽減	16	7	0	23	27.1%	28.1%
PTA・地域行事・保護者への対応等業務の負担軽減	14	1	0	15	17.6%	12.4%
部活動・社会体育等への負担軽減	22	0	1	23	27.1%	36.0%
その他	3	1	0	4	4.7%	5.6%
合計	153	40	3	196	-	-

項目	校数(複数回答)				割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計	
職員会議で協議し決定した	33	11	2	46	55.4%
安全衛生委員会や運営委員会等で協議し決定した	31	16	3	50	60.2%
アンケート調査を実施し決定した	10	4	1	15	18.1%
協議等の後、管理職で決定した	17	3	1	21	25.3%
管理職のみで決定した	5	1	0	6	7.2%
合計	96	35	7	138	-

項目	校数(複数回答)				割合(%)	割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計		
職員会議で協議し決定した	34	8	1	43	50.6%	55.1%
安全衛生委員会や運営委員会等で協議し決定した	44	13	1	58	68.2%	70.8%
アンケート調査を実施し決定した	9	7	1	17	20.0%	25.8%
協議等の後、管理職で決定した	18	3	0	21	24.7%	30.3%
管理職のみで決定した	9	1	1	11	12.9%	10.1%
合計	114	32	4	150	-	-

項目	校数				割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計	
非常に感じている	2	0	0	2	86.7%
感じている	51	16	3	70	
あまり感じていない	7	4	0	11	13.3%
全く感じていない	0	0	0	0	
合計	60	20	3	83	100.0%

項目	校数				割合(%)	割合(%)
	高等学校	特別支援学校	中学校	合計		
非常に感じている	3	0	0	3	94.1%	100.0%
感じている	57	18	2	77		
あまり感じていない	4	0	0	4	5.9%	0.0%
全く感じていない	0	1	0	1		
合計	64	19	2	85	100.0%	100.0%

【市町立学校】

2022/4/1 現在

令和3年度

【参考】令和2年度

【参考】
令和元年度

項目	校数(複数回答)			割合(%)	校数(複数回答)			割合(%)	割合(%)
	小学校	中学校	合計		小学校	中学校	合計		
<「プラス1」推進運動の取組目標>									
教職員の勤務態勢及び学校運営の改善	237	131	368	93.9%	235	132	367	95.8%	95.5%
学校行事・各種会合等の負担軽減	211	97	308	78.6%	196	83	279	72.8%	62.4%
文書管理等事務処理の負担軽減	152	65	217	55.4%	129	71	200	52.2%	50.3%
PTA・地域行事・保護者への対応等業務の負担軽減	94	55	149	38.0%	80	48	128	33.4%	31.8%
部活動・社会体育等への負担軽減	9	69	78	19.9%	17	69	86	22.5%	30.4%
その他	6	2	8	2.0%	5	1	6	1.6%	2.8%
合計	709	419	1,128	-	662	404	1,066	-	-

項目	校数(複数回答)			割合(%)	校数(複数回答)			割合(%)	割合(%)
	小学校	中学校	合計		小学校	中学校	合計		
<取組目標・内容の決定方法>									
職員会議で協議し決定した	140	78	218	55.6%	159	95	254	66.3%	65.2%
運営委員会等で協議し決定した	87	65	152	38.8%	98	68	166	43.3%	40.3%
アンケート調査を実施し決定した	9	4	13	3.3%	23	7	30	7.8%	6.4%
協議等の後、管理職で決定した	114	52	166	42.3%	138	68	206	53.8%	54.4%
管理職のみで決定した	25	10	35	8.9%	35	15	50	13.1%	11.0%
合計	375	209	584	-	453	253	706	-	-

項目	校数			割合(%)	校数			割合(%)	割合(%)
	小学校	中学校	合計		小学校	中学校	合計		
<【働きやすい職場環境】になったと感じるか >									
非常に感じている	33	18	51	95.2%	38	12	50	94.8%	100.0%
感じている	210	112	322		196	117	313		
あまり感じていない	11	8	19	4.8%	11	9	20	5.2%	0.0%
全く感じていない	0	0	0		0	0	0		
合計	254	138	392	100.0%	245	138	383	100.0%	100.0%

2 学校行事の見直しについて

- ・学校の業務負担軽減の実現に向けては、実効性のある取組が喫緊の課題ではありますが、くしくも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校では行事の中止等をはじめ、様々な教育活動の大幅な変更を余儀なくされました。その結果として、学校における働き方改革を検証できる機会となっています。
- ・今回、実際に学校で見直しをした学校行事を取りまとめましたので、これまで不変と考えてきた学校行事や教育活動等のあり方を見直す参考としてご活用ください。

(1) 見直した学校行事

※ () 内は回答があった校数

項 目	校数（複数回答）					合 計
	市町立学校		県立学校			
	小学校 (254)	中学校 (138)	高等 学校 (60)	特別支援 学校 (20)	中学校 (3)	
入学式・卒業式	123	48	9	6	1	187
始業式・終業式	83	24	7	3	1	118
体育祭・文化祭・校内大会等	192	90	19	7	2	310
修学旅行	35	20	6	1	0	62
歓迎行事	42	23	7	1	0	73
周年行事	23	12	6	2	1	44
各種校内委員会等	40	21	11	4	1	77
新入生研修・学習合宿等の宿泊を伴う活動	12	16	12	1	3	44
定期考査	1	26	9	1	0	37
その他	10	4	5	0	0	19
合 計	561	284	91	26	9	971

※表のうち、その他 19 校の内容（重複している回答はまとめています）

県立 学校	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭の日程を午前中日程とし、午後は会場撤去のみに充てた ○定期考査における採点日の設定 ○相互授業参観 年3回→年2回 ○PTA 報告会 ○地域と連携した行事の見直し 	市町立 学校	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中の補習 ○地域合同植栽活動 ○水泳指導、授業参観（地域参観日を含む）、スポーツテスト等 ○家庭訪問から、学校で行う個人面談に変更した ○学習発表会等の文化的行事の見直し ○遠足 ○新入生説明会の見直し（保護者には資料配布による説明、校区内小学校6年生には各小学校で動画視聴による説明に変更） ○「餅つき交流」（総合的な学習の時間の取組。PTAも参加。）
----------	---	-----------	---

(2) 完全に廃止した学校行事の事例

※(1)の表の971件のうち、
廃止をしたもの

県立学校	新入生宿泊研修
	PTA 報告会
	1 学期中間考査
	地域と連携した行事の一つを本校職員のみで行える内容に変更
	宿泊を伴う学習合宿
	周年行事の式典
	マラソン大会、2 年生の宿泊学習
	運動会

市町立学校	家庭訪問
	夏季休業中の補習
	学習発表会
	6 年生の登山
	三世代交流活動、交通安全教室、餅つき会
	地域の施設を借用して保護者や地域の方を招き、歌や合奏、劇などを発表する行事。新型コロナ禍で外部からお客さんを招待できない等の理由により実施しなかったが、年間教育活動への位置づけが難しいことや、移動時間・準備や練習に時間をとられ、本来行うべき教育活動に支障をきたしていたため、廃止が妥当であると判断し、令和4年度より廃止とした。
	ふれあいコンサート（発表会）
	文化祭
	プール清掃
	秋の鍛錬遠足
	持久走大会
	歓迎遠足
	独自に行っている行事
秋の遠足、家庭訪問（個人面談へ変更）	

3 「働き方改革にかかる学校への提言」の活用について

- ・令和2年度に県教育庁内に設置した「働き方改革プロジェクトチーム」において、前例にとらわれず、これまで不変と考えてきた学校行事や教育活動等のあり方を見直す取組を具体的な例を挙げて大胆に提案を行うこととし、令和3年3月に「働き方改革にかかる学校への提言」としてまとめました。
- ・本提言は、働きやすい職場環境づくりを進めるために、校内の各種委員会や、保護者・地域住民への説明等に活用していただき、それぞれの学校の運営や地域の実情に応じて業務負担軽減への更なる取組を推進していただくことを目的としています。
- ・県内公立学校における本提言の活用状況を以下のとおりまとめましたので、今後更なる業務負担軽減の取組を進めるうえで参考にいただき、本提言の活用をご検討いただきますようお願いいたします。

(1) 提言の活用状況

※ () 内は回答があった校数

項 目	校 数					合 計
	市町立学校		県立学校			
	小学校 (254)	中学校 (138)	高等 学校 (60)	特別支援 学校 (20)	中学校 (3)	
活用している	220	115	38	11	2	386
活用していない	34	23	22	9	1	89
合 計	254	138	60	20	3	475

(2) 提言の活用方法

項 目	校 数 (複数回答)					合 計
	市町立学校		県立学校			
	小学校 (220)	中学校 (115)	高等 学校 (38)	特別支援 学校 (11)	中学校 (2)	
職員会議、各種校内委員会等で活用した	211	112	34	7	2	366
関係団体（PTA、同窓会等）への説明等に活用した	13	10	1	0	0	24
保護者や地域住民への説明等に活用した	17	7	1	0	0	25
その他	7	3	5	2	0	17
合 計	248	132	41	9	2	432

回答があった学校のうち、81.2%の学校が「働き方改革にかかる学校への提言」を活用しているという結果でした。
 活用方法としては、職員会議、各種校内委員会等での活用が94.8%と、職員への説明等に活用している学校がほとんどでしたが、関係団体や保護者、地域住民への説明に活用している学校も見受けられました。
 業務負担軽減に向け、今後更なる活用をお願いします。

※表のうち、その他17校の内容（重複している内容はまとめています）

県立学校	教務主任と業務や学校行事等の精査について話し合い、活用中である。
	全職員へ回覧し、共通課題として情報共有を図った。
	学校行事を見直す際の参考資料として活用した。
	中間考査の廃止、担任業務の軽減、校務分掌業務の整理
	内容を参考にして管理職で取り組みを検討し、職員会議等で提案を行っている。
	管理職が学校運営（働きやすい職場作り）の参考にしている。
市町立学校	働きやすい職場環境づくりを推進する上での参考資料として、関係職員の間で情報を共有した。
	他校や他地域でも同じことを考えていると共感するとともに、改善に向けた取組を参考にした。
	管理職で確認し、できることから実践している。
	安全衛生委員会で活用した。
	回覧し、共通理解を図った。
	管理職員が教職員に助言するために活用した
	提言の内容をもとに、職員向けに選択式及び記述式のアンケートを実施し、職場の実態に合った業務改善案を募った。